

安全データシート

作成改訂 2015年 5月 22日

1. 製造及び会社情報

製品名 : SRフィラー Aタイプ
 会社名 : 静岡瀝青工業株式会社
 住所 : 静岡県焼津市高新田810番地
 担当部門 : 技術部
 電話番号 : 054-622-1255
 FAX番号 : 054-622-6457
 緊急連絡電話番号 : 054-622-1255 技術部 月～金曜日 8:00～17:00
 整理番号 : D-G21-4003
 推奨用途及び使用上の制限 : 目地材

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に関する有害性

急性毒性(経口) : 分類できない
 急性毒性(経皮) : 分類できない
 急性毒性(吸入) : 分類できない
 皮膚腐食/刺激性 : 分類できない
 眼に対する重篤な損傷性・刺激性 : 分類できない
 呼吸器感作性 : 分類できない
 皮膚感作性 : 分類できない
 生殖細胞変異原性 : 分類できない
 発がん性 : 分類できない
 生殖毒性 : 分類できない
 特定標的臓器/全身毒性(単回暴露) : 分類できない
 特定標的臓器/全身毒性(反復暴露) : 分類できない
 吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性) : 分類できない
 水生環境有害性(慢性) : 分類できない

ラベル要素

絵表示またはシンボル : 特になし
 注意喚起語 : 特になし
 危険有害性情報 : 特になし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
 化学名または一般名 : 天然ゴム発泡体、(C₄H₆)_n

| 成分 | 含有量 (%) | CAS番号 | 官報公示整理番号 | | 政令番号 | |
|------|------------|-------|----------|-----|------|-------|
| | | | 化審法 | 安衛法 | 安衛法 | PRTR法 |
| 天然ゴム | 40 | | — | — | — | — |

その他充填材等も含め100%

4. 応急処置

| | |
|---------------|---|
| 吸入した場合 | : 固形物のため該当しない。但し、製品より発生する発泡ガスを多量に吸入した場合、新鮮な空気の場合に移動し、症状によって医師の診断を受ける。 |
| 皮膚に付着した場合 | : 特に問題はない。 |
| 眼に入った場合 | : すみやかに清浄な水で洗い流し、目を傷つけている恐れがある場合、眼科医の診断を受ける。 |
| 飲み込んだ場合 | : 医師の診断を受ける。 |
| 最も重要な兆候及び症状 | : 現在のところ有用な情報なし。 |
| 応急処置をする者の保護 | : 現在のところ有用な情報なし。 |
| 医師に対する特別な注意事項 | : 現在のところ有用な情報なし。 |

5. 火災時の措置

| | |
|-------------|--|
| 消火剤 | : 粉末ABC消火器、粉末消火器、水、二酸化炭素消火器 等 |
| 使ってはならない消火剤 | : 現在のところ有用な情報なし。 |
| 特有の危険有害性 | : 現在のところ有用な情報なし。 |
| 特有の消火方法 | : 火元への燃焼源(燃料、空気、熱)を断つ。 周囲の設備等に散水して冷却する。 火災発生場所の周辺には関係者以外の立入りを禁止する。 |
| 消火を行う者の保護 | : 消火作業の際は、風上から行い、必ず保護具を着用する。 |

6. 漏出時の措置

| | |
|-----------------------|------------------|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 | : 現在のところ有用な情報なし。 |
| 環境に対する注意事項 | : 現在のところ有用な情報なし。 |
| 封じ込め及び浄化の方法・機材 | : 現在のところ有用な情報なし。 |
| 二次災害の防止策 | : 現在のところ有用な情報なし。 |

7. 取扱い及び保管上の注意

| | |
|-----------|---|
| 取扱い | |
| 技術的対策 | : 金属(特に銅)、ガラス、一部の塗料等に対する腐食性及び汚染性があるため、これらと接触しないようにする。 |
| 注意事項 | : ー |
| 安全取扱い注意事項 | : ー |
| 保管 | |
| 技術的対策 | : 直射日光、高温場所を避け、重量物を上に積載しないように保管する。 |
| 保管条件 | : 常温屋内保管 |
| 注意事項 | : 火源を避ける。 |
| 安全な容器包装材料 | : ー |

8. 暴露防止及び保護措置

| | |
|------|---|
| 許容濃度 | : 現在のところ知見なし。 |
| 設備対策 | : 裁断、漉き、研磨等粉塵の出る加工をおこなう場合は粉塵対策として排気装置を置くか、適度な換気をおこなう。 |
| 管理濃度 | : 現在のところ知見なし。 |

保護具

| | |
|------------|-------------------------|
| 呼吸器の保護具 | : 状況に応じて呼吸用保護具等を使用すること。 |
| 手の保護具 | : ー |
| 眼の保護具 | : ー |
| 皮膚及び身体の保護具 | : ー |
| 適切な衛生対策 | : ー |

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

| | |
|--------|---------|
| 外観(形状) | : 発泡体 |
| 外観(色) | : 灰色、黒色 |
| 臭い | : ー |
| pH | : データなし |

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

| | |
|------|----------|
| 沸点 | : データなし |
| 凝固点 | : データなし |
| 分解温度 | : データなし |
| 引火点 | : 300℃以上 |
| 発火点 | : データなし |

爆発特性

| | |
|------|------------------------|
| 爆発限界 | : 下限 データなし 上限 データなし |
| 蒸気圧 | : データなし |
| 蒸気密度 | : データなし |
| 密度 | : 0.2g/cm ³ |

溶解性

| | |
|--------------|---------|
| 水に対する溶解性 | : 不溶 |
| オクタノール/水分配係数 | : データなし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|------------------|
| 安定性 | : 安定 |
| 危険有害反応可能性 | : 現在のところ有用な情報なし。 |
| 避けるべき条件 | : 現在のところ有用な情報なし。 |
| 混触危険物質 | : 現在のところ有用な情報なし。 |
| 危険有害な分解生成物 | : 現在のところ有用な情報なし。 |
| その他 | : 現在のところ有用な情報なし。 |

11. 有害性情報

| | |
|-----------------|---|
| 急性毒性 | : 現在のところ有用な情報なし。 |
| 皮膚腐食性/刺激性 | : 物理的な刺激。 |
| 眼に対する重篤な損傷性/刺激性 | : 若干の刺激あり。 |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性 | : 個人差があるが、人によっては稀にアレルギーを示すことがある。 また製品から発生する発泡ガスを吸入した場合、個人によっては喉に刺激を感じることもある。 |
| 生殖細胞変異原性 | : 現在のところ有用な情報なし。 |
| 発がん性 | : 現在のところ有用な情報なし。 |
| 生殖毒性 | : 現在のところ有用な情報なし。 |

| | |
|-------------------|------------------|
| 特定標的臓器／全身毒性(単回暴露) | : 現在のところ有用な情報なし。 |
| 特定標的臓器／全身毒性(反復暴露) | : 現在のところ有用な情報なし。 |
| 吸引力呼吸器有害性 | : 現在のところ有用な情報なし。 |
| その他 | : なし。 |

12. 環境影響情報

| | |
|-----------|------------------|
| 生体毒性 | : 現在のところ有用な情報なし。 |
| 残留性／分解性 | : 現在のところ有用な情報なし。 |
| 生体蓄積性 | : 現在のところ有用な情報なし。 |
| 土壌中の移動性 | : 現在のところ有用な情報なし。 |
| オゾン層への有害性 | : 現在のところ有用な情報なし。 |

13. 廃棄上の注意

| | |
|-----------|---|
| 残余廃棄物 | : 産業廃棄物として関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。焼却する場合は、高温度で焼却できる専用の焼却炉を使用する。 |
| 汚染容器および包装 | : — |

14. 輸送上の注意

国際規制

| | |
|--------|-----|
| 国連分類 | : — |
| 国連番号 | : — |
| 品名 | : — |
| 容器等級 | : — |
| 海洋汚染物質 | : — |

国内規制

| | |
|------|-----|
| 陸上輸送 | : — |
| 海上輸送 | : — |
| 航空輸送 | : — |

追加の規則 : —

輸送の特定の安全対策及び条件 : 荷崩れのないように確実におこなう。直射日光等の高音素避ける。損傷のないように積み込む。

15. 適用法令

| | |
|-----|---------|
| 消防法 | : 指定可燃物 |
|-----|---------|

16. その他の情報

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取り扱う業者に提供されるものです。ここに記載された情報は現時点で正確なものと考えられますが、危険・有害性の評価は必ずしも完全なものではなく、新知見によって変わることがあります。取り扱う事業者は、これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講じることが必要であることを理解した上で活用されるようお願いいたします。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。
